

6年	単 元 名	平和に関する本のすいせん文を書こう
(教科)国語		

1. 単元の目標

「ヒロシマのうた」で学んだことを活用して、平和の大切さや戦争の悲しさなどを伝えるおすすめの本を選び、下級生に向けて推薦文を書く。

2. 学校図書館活用のポイント※目標との関連も踏まえて

学校図書館にあるたくさんの平和に関する本の中から、推薦する根拠となる心に残る一文がある本を選び、根拠を基に推薦する理由を相手に伝わるように意識して書くことで、説得力のある文章を書く力を高める。

3. 授業での活用場面

学習活動	学校図書館の関わり
<p>1. 推薦文の書き方について例を基にして確認する。</p> <p>2. 学校司書による平和に関する本のブックトークを行う。</p> <p>2. 推薦文を書く。</p> <p>3. 完成した推薦文を学校図書館に展示する。</p>	<p>○学校図書館にある平和に関する本についてのブックトークを行い、児童が推薦本を選ぶ上での参考にする。</p> <p>○学校司書が著作権に関する話を行い、引用文献の著者名や出版社名などをすいせんカードに明記することを確認する。</p> <p>○完成した推薦文を推薦本と共に学校図書館に展示し、下級生・同級生・職員に推薦文を読んでもらったり、本を借りてもらったりする。</p> <p>○感想カードも準備し、6年生にフィードバックできるようにする。</p>

4. 考察（成果や課題等）

- ・総合的な学習の時間でも平和学習を行っており、学習発表会でも平和に関する劇の発表を行った。音楽でも「さとうきび畑の唄」を扱った、教科横断的な取り組みが実現できたことにより、それぞれの教科等における目標の達成にもかなりのプラスとなった。
- ・下級生からの反応もあったことでやりがいを感じ、仲間の推薦文を読み合うことによって、自分が推薦する本以外にも様々な本を読み深めることができた。